

川嶋 昭二: *Stschapovia* 網走に産すShoji KAWASHIMA: A record of *Stschapovia* from Abashiri, Hokkaido

褐藻類に所属する *Stschapovia* (シチャポヴィア属) は 1954 年に A. D. ZINOVA が設けた属で、同時に日本海北部の De-Castri 湾から *Stschapovia flagellaris* が記載された (A. D. ZINOVA: A new family, a new genus and a new species of brown algae. Contrib. Bot. Inst. Acad. Sci., USSR, Series II, No. 9, 1954, in Russian).

この海藻は盤状根から叢生する 20 cm あまりの単条直立体で、その下部は短い茎から急に棍棒状の肥厚部となり、その先に細長い鞭状部を有する。ZINOVA によるその性質や所属に関する分類学的記述については、すでに時田郁博士が本誌第 4 巻第 2 号 (1956) に「日本海北部から報告された褐藻の 1 新属」として解説し、「地理的に考えて将来北海道でも見つかることあるがかもしれない」と述べている。

筆者はこの一文に接してから長い間この海藻に関心を持ってきたが、最近、北海道網走市内で採集された 2 つの標本を実見することができたので、とりあえずここに紹介したい。

標本の一つは 1977 年 8 月 7 日、網走市鱒浦漁港附近の岩礁地帯で垣内政宏氏 (道立中央水試) が採集したもので、径 9 mm の盤状根から 50 本ほどの直立体が叢生する。その最大のものは全長 8.5 cm と小さく、

茎状部 0.5 cm、肥厚部 2 cm、鞭状部 6 cm ほどの長さである (Fig. 1-2)。

他の一つは 1978 年 8 月 9 日、網走市二ツ岩地先で林 忠彦氏ら網走水試増殖部員により採集され、記録によると水深 2 m (距岸 30 m) と 3.5 m (距岸 60 m) 地点で 0.5 m<sup>2</sup> あたり 8.4 g と 84.6 g の藻体が得られている。直立体は全長 17 cm ほどで、茎状部 2 cm、肥厚部 3 cm、鞭状部 12 cm である。

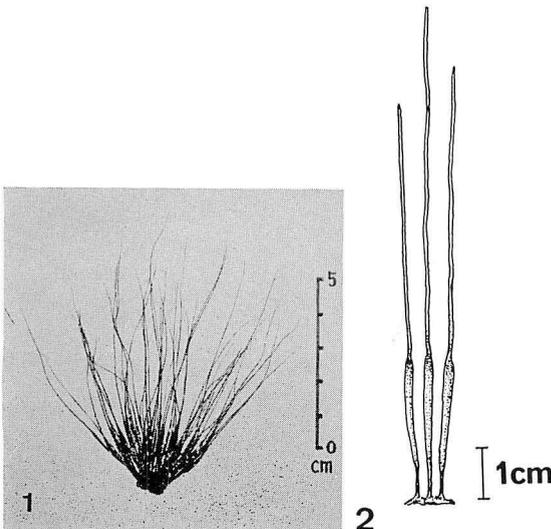
両標本とも腊葉のため太さは正確を期し難いが、茎状部と鞭状部で 0.3~0.4 mm、肥厚部で 1~1.4 mm ほどである。ただ、この肥厚部の形は ZINOVA (l.c.) が図示しているほどはしっかりした棍棒状ではない。内部構造も海水へのもどりが悪く精査は難しいが基本的には ZINOVA の画いている図に一致する。これらの点から、この海藻は *St. flagellaris* としてはぼまちがいなからう。しかし、なお多くの生鮮個体によって検討したい点も残されている。

*St. flagellaris* は De-Castri 湾のほか、すでに T. F. STSCHAPOVA and V. B. VOZZHINSKAYA (Algae of the Littoral of West Coast of Sakhalin. Contrib. Inst. Oceanology, 34, 1960) および VOZZHINSKAYA (Macrophytes of the Sakhalin Sea Coast. Contrib. Inst. Oceanology, 69, 1964) が樺太西岸の Aleksandrovskaya から報告している (いずれも原著は露文で、U.S. Naval Oceanographic Office, 1969 年版英訳資料による)。Aleksandrovskaya では潮間帯下部のヒバマタ (*Fucus evanescens*) 帯の下に多産し、直立体は 30~35 cm になるという。

ここに特記しておきたいことは、故山田幸男先生によれば、ZINOVA の報告より先に、瀬川宗吉博士がオホーツク沿岸の沙留 (サル) でおそらく今回発見されたものと同じ海藻をすでに採集しており、その時の原画が先生の手もとに保管されていた。この原画または標本が発見されれば採集年月日を明らかにできるだろう。もちろん種名不詳で未発表のままである。

なお、この海藻は現在北大理学部黒木宗尚教授の指導の下に網走地方の海藻相を研究中の川井浩史君が詳しく調査中なので、残された問題はその成果に期待したい。

最後に標本を提供下さった垣内政宏、林 忠彦の両氏にお礼申し上げる (041-14 北海道茅部郡鹿部村 北海道立栽培漁業総合センター)。



Figs. 1-2 *Stschapovia flagellaris* A. D. ZINOVA, 1977 Aug. 7, Abashiri.